

次の10年を見据え全力で



町長施政方針演説
町民生活の安定、
町の将来を見据えた
まちづくりに全力で取り組む
すずきしげお
鈴木重男 町長

昨年、合併70周年という大きな節目を迎え、次なる10年に向けて新たな夢を描き、力強く踏み出す決意を新たにすることができました。

複合庁舎「くずま〜る」の全施設が完成を迎えました。先人が築き上げた町の基盤に、次代を見据えた最新の機能を融合させ、誰もが幸せを実感し、安心して住み続けられるまちづくりを一層推進します。

また、早期整備に大きな期待が寄せられている「北岩手・北三陸横断道路」は、昨年、県から優先整備区間として「小屋瀬～茶屋場」間が設定され、事業化に向けた詳細調査が開始されました。今後も関係機関と緊密に連携し、地域の生活と経済を支え、命を守る基幹道路として、早期整備に全力を注ぎます。

町民の皆様の負担軽減に主眼を置き、生活支援、事業者支援対策のほか、町の将来を見据えた基盤整備や人口減少対策に全力で町勢運営に取り組んでまいります。(要約)



教育長行政方針
葛巻を創造する
たくましい子を育む
教育を推進
いしがきのりゆき
石角則行 教育長

子育て世帯の経済的負担を目的とした様々な支援事業を実施し更なる「子育て環境の充実」に努めます。

学校教育については、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を総合的に兼ね備えた、社会を創造する「生きる力」を身に付けるための教育を推進します。

また、町民一人ひとりが心豊かで生きがいのある生活が送れるような、学びの機会の拡充やスポーツでの健康・体力づくりの推進を図ってまいります。(要約)

病院会計は、収益的支出と資本的支出の総額が、14億2,911万円で、前年度に比べて2,319万円、1.7割増加しました。

**包括ケア病床の積極的活用と
急性期病院との連携による
患者確保に努める**

二つの特別会計の当初予算総額は、9億5,414万円で、前年度に比べて7,844万円、9.0割増加しました。
三つの企業会計の当初予算総額は、23億2,061万円で、前年度に比べて1,055万円増加しました。

特別・企業会計

下水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の総額が、3億1,722万円で、前年度に比べて53万円増加しました。

**物価上昇による光熱水費や
減価償却費の増の一方、
修繕費を抑制**

水道会計は、馬淵川北部地区水道施設整備事業に係る工事費の減に伴い、収益的支出と資本的支出の総額が、6億4,700万円で、前年度に比べて2,267万円、3.6割減少しました。

**馬淵川北部地区配水管布設工事
2億4,000万円を計上**



70周年記念式典

定例会議

3月定例会議は、3月6日から13日までの8日間の日程で行われました。

冒頭、鈴木町長が施政方針を、石角教育長が教育行政方針の演説を行いました。

町長から提出された議案は8年度一般会計予算など13件で、原案どおり「決定」しました。

一般質問では1人の議員が登壇し、町政に対して活発な議論が展開されました。

一般会計

8年度の一般会計当初予算は、70億8,490万円で前年度に比べて2億5,620万円、3.8割の増となっています。

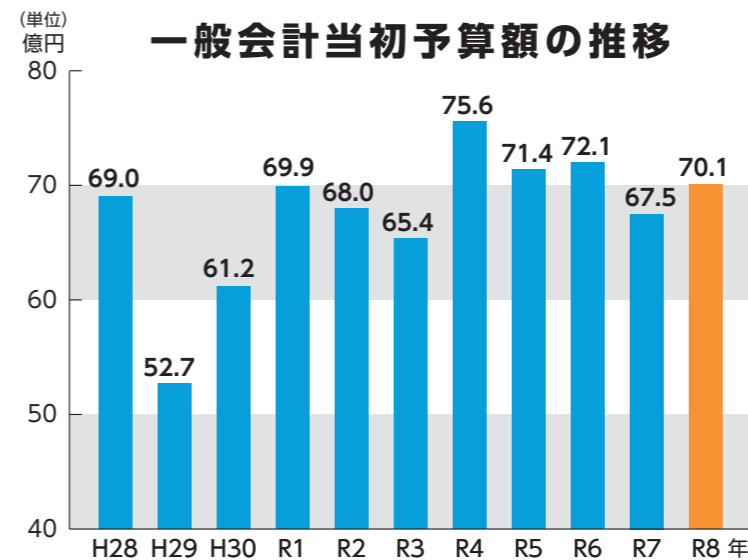
地方交付税が約38億円

収入は全体の54.5割を占める地方交付税が38億2,000万円で、前年度に比べて1億4,000万円、3.8割増加しました。

町税は、5億5,616万円で、前年度に比べて1,460万円、2.6割減少しました。基金からは、前年度と比べて9,749万円、11.3割増の9億5,800万円の繰り入れとなっています。

町が自力で収入できるお金である自主財源は、前年度と比べて3,589万円、2.1割増加しており、収入全体からみた割合は25.0割となっています。

一般会計当初予算額の推移



新規・継続事業を充実
支出は、高規格救急自動車購入事業、指定避難所生活環境改善事業、道路改良町道下町田子線、総合運動公園機能強化事業などの新規事業のほか、高齢者等外出支援事業、畜産労働力負担軽減対策事業、エコ・エネ総合対策事業など継続事業の拡充が盛り込まれました。

一般会計予算の詳しい内訳は4～5ページを、主な新規事業は6～7ページをご覧ください。

特別・企業会計当初予算額

会計名	予算額
特別	
国民健康保険事業	8億4,521万円
後期高齢者医療事業	1億 893万円
計	9億5,414万円
企業	
病院事業	14億 291万円
水道事業	6億 47万円
下水道事業	3億1,722万円
計	23億2,061万円

※企業会計は、収益的収支の支出額と資本的収支の支出額を合算した額